



第8号

「めぐみちゃんの まちづくりだより」

～ 市民と農家の宝もの けやきの里のめぐみです ～

西東京市では、農業者と市民が相互理解を深め、都市の農業・農地が持つ多面的な機能を発揮させることにより、農地の保全を図っていくことを目的に、「都市と農業が共生するまちづくり事業」を進めています。事業の一環として整備された『花摘みの丘』と『農のアカデミー体験実習農園』を活用して、市内の農業・農地の魅力にふれあえるイベント「農業わくわく散策会」を6月15日（土）に開催しました。

事業の
ねらい

保谷駅北部エリアの特徴である花を活かした農園で、市民が農の様々な機能にふれあい、農への関心を高めてもらいます。

事業の
効果

小高い丘状の景観を活かしながら、市民にとって愛着のある花とのふれあい拠点となります。

1 農業わくわく散策会

イベントには、市内在住の大人から子どもまで市民16名が参加しました。保谷駅北口から保谷北部を循環するコミュニティバスのはなバス（第1ルート）に乗車し、花摘みの丘と農のアカデミー体験実習農園を訪れました。今回の農業わくわく散策会では、花摘みの丘では「農あるフォトスクール」、農のアカデミー体験実習農園では「初夏の収穫体験」を実施し、参加者の皆さんに西東京市の農業にふれあっていただきました。



2 農あるフォトスクール

「農あるフォトスクール」では、プロの写真家であり、市内で写真スタジオを営んでいる渡部進氏に、花をテーマにした撮影方法の指導をしてもらいました。屋外では風で被写体が揺れてしまうことが多いので、植物を被写体にした写真の撮り方のコツとして、シャッタースピードを速くしたり、ISO感度を調整すること手ぶれを防いだり、被写体である植物に霧吹きで水を吹きかけることで、みずみずしい写真が撮れるなど、すぐに挑戦することができるプロのテクニックを教えていただきました。



渡部進先生

